

平成 20 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 ベルーナ
 代表者名 代表取締役社長 安野 清
 (コード番号 9997 東証第 1 部)
 問合せ先 管 理 本 部 長 須藤 滋
 (TEL. 048-771-7753)

営業外費用、特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 7 月 31 日に公表した連結業績予想、平成 20 年 5 月 2 日に公表した個別業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

①平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	54,400	4,000	3,610	2,000	39 円 12 銭
今回発表予想(B)	54,600	2,600	2,200	440	8 円 67 銭
増減額(B-A)	200	△1,400	△1,410	△1,560	—
増減率(%)	0.4%	△35.0%	△39.1%	△78.0%	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	60,235	4,770	5,059	2,683	51 円 13 銭

②平成 21 年 3 月期通期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	125,500	11,000	10,500	6,130	119 円 90 銭
今回発表予想(B)	118,500	6,400	4,800	1,930	38 円 02 銭
増減額(B-A)	△7,000	△4,600	△5,700	△4,200	—
増減率(%)	△5.6%	△41.8%	△54.3%	△68.5%	—
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月期)	125,173	10,208	7,151	3,435	66 円 14 銭

2. 個別業績予想の修正

①平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	41,430	740	990	560	10 円 78 銭
今回発表予想(B)	41,420	260	1,240	10	0 円 20 銭
増減額(B-A)	△10	△480	250	△550	—
増減率(%)	0.0%	△64.9%	25.3%	△98.2%	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	46,488	1,481	1,685	643	12 円 26 銭

②平成 21 年 3 月期通期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	90,800	2,750	3,150	1,778	34 円 23 銭
今回発表予想(B)	89,000	1,140	1,540	150	2 円 95 銭
増減額(B-A)	△1,800	△1,610	△1,610	△1,628	—
増減率(%)	△2.0%	△58.5%	△51.1%	△91.6%	—
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月期)	98,315	3,997	1,614	155	2 円 99 銭

3. 営業外費用、特別損失の計上及び業績予想の修正の理由

①連結業績予想修正の理由

第 2 四半期の業績は、売上高がほぼ予定通りに推移したのに対し、金融・経済環境の変化に合わせてアドバンスド・ファイナンス事業の営業貸付金を絞ったこと等により営業利益は予想を下回る見込みです。また、急激な円高に伴い為替差損を 1,119 百万円計上し、営業外損失が膨らんだことなどから、経常利益と四半期純利益は予想を下回る見込みです。

通期につきましては、第 2 四半期までの業績動向に加え昨今の厳しい消費・経済環境を鑑み、特にアドバンスド・ファイナンス事業とプロパティ事業を中心に事業実態に合わせ、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の予想を引き下げました。

②個別業績予想修正の理由

第 2 四半期の業績は、売上高がほぼ予定通りに推移したのに対し、営業利益は、収益性の高い BOT 事業の売上が減少したこと等により、予想を下回る見込みです。又、オプション評価益を 771 百万円計上したことで経常利益は予想を上回る一方、特別損失として投資有価証券評価損を 1,149 百万円計上し、四半期純利益は予想を大幅に下回る見込みです。

通期につきましては、昨今の厳しい消費・経済環境を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の予想を引き下げました。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上